

秋川市硬式テニス連盟ニュース 第21号

発行・秋川市硬式テニス連盟広報部 中村 (58) 0820

今年の夏はなんだったんだ!!
夏を返せ!!

少数精鋭だった秋の合宿

秋の合宿が10月15・16日に23人が参加して常宿となっていた河口湖、ロッヂ「白壁」で行われました。

天気は両日とも快晴となり富士山もきれいに見え、有意義な二日間が過ぎました。

今回の合宿は、少人数だったので試合を中心とし、ペアの組合せも、上級者と初中級者とし、マン・ツー・マンで教えてもらえるという、初中級者には願ってもないものになりました。

また、今回は古橋をすぎてこれからは青春という元気一杯な戸部さんを筆頭にいつもより若干年齢が高いというものでしたが、年齢あてクイズをしたらブーが続出するのではというほど、皆さん、はつらつとしていました。

合宿に参加して

戸部 亮

紫紺色の富士に招かれて合宿に参加する。期待感に躍る少年の様な気持ちに足取りも軽

い。



本練習のビデオ撮り。

白頭短足

トレーパー

姿の男がネ

ット際であ

ろついている

る。膝が伸

びきつてい

る! ラケ

ットを立て

て! コーチ

の激しい注

意が録音さ

れている。

夕食時の談

笑は涙刺として

いる。

第二日。午前四時近く枕上

で人声がある。今売出し中の

独身コーチである。きこえて

くる言葉をつなぐと

愛車を駆って深夜の国道を疾

走、河口湖まではかっこよい

ドライブだったが宿舎への見

え

え

え



当が外れ敷十分も空しい彷徨の末ようやくたどりついた次第だという。寒いのだが彼には余裕たっぷりのユーモアがあった。さすが、敬服した私は躊躇なく仮眠休養の席を譲ろうと思った。シャツのあ

会者相互の行届いた気配りに包まれ快活な雰囲気の中に内容は充実していた。緊急自在の球質に恥じて筋を讀み球を追う。バタバタしている間にグリップは自分の癖になっている。

休憩。青空の中をくっつきりと富士の全貌が見え、すぐにも山頂に登って行けそうだ。「若い二人」を目す。君には君の夢があり、で始まる青春の歌だ。二人の道は遠いけど心も軽くはずな足という文句がすばらしい。早い足取りで過ぎて行く歳月の中を友は皆それぞれの道に離れて行った。共感するよろこびがあるとするは何だろうか?

今、こうして若い仲間とコートの上をかけまわっている汗を流し笑顔がこぼれる。氷の入った冷水を何杯も飲みます。これが生きていくというよろこびだった。

る限りを着込み早朝練習の準備にかかった。フロントには目覚めの早い朝会長の爽やかな笑顔が待っていた。合宿の人数は二十名程だったが皆張り切っている。二日間の日程だが、役員は元より参

秋の市民大会開催される

何十年に一度といわれるような異常気象の中、秋の市民大会が開催されました。

まず最初が、9月11日に行なわれた壮年ダブルス戦、これはペア二人の年齢を合わせて百才以上という難しい条件がつけられた試合です。当日もぐずついた天気となり、一時雨で中断するなどして、調子をくずすペア、逆にもり返しに成功したペアなど、それぞれが大変苦戦した試合展開になりました。ただ参加が、7ペア、14人と少なかったのが残念でした。

次に9月18日に男女シングルス一部の試合が行なわれました。曇天の中、それを吹き飛ばす勢いで試合が始まり、その熱気が、雨を降らせず全試合が消化できました。

その後、9月23日に男女シングルス二部の試合が予定されていましたが、雨で中止となり、予備日の25日にも雨が降り、結局二部の試合は行うことができませんでした。

雨で試合ができなかった、二部にエントリーした人、雨続きで練習不足になり、満足

な試合ができなかったと思っている人、今年こそは一回戦を突破しようと思つてはたせなかった人、来年も勝つぞろと思つている人、また一年間がんばって練習して、来年の市民大会で会いましょう。

弦巻

久々のシングルス戦で疲れました。これからもう少しお願いします。11月の秋川オープンもがんばります。



北浦

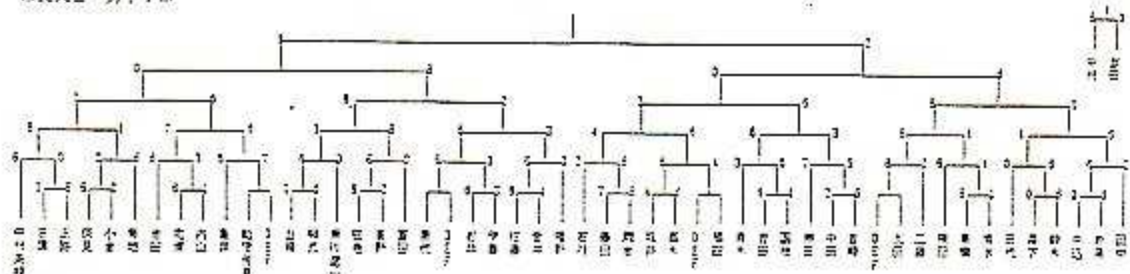
練習不足なので一球一球大事にやりました。



市民大会 男子1部

表 戦： 松島 信夫

3-2 中村



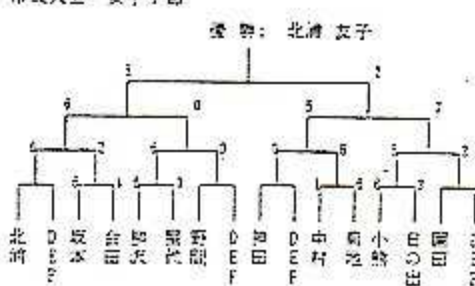
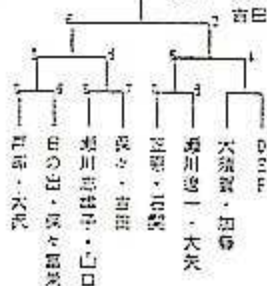
市民大会 壮年の部

表 戦： 保々 津道
吉田 栄々夫

市民大会 女子1部

表 戦： 北浦 女子

3-2 菊池



右 吉田
左 保々



吉田：一回戦で、最初大きくリードされていましたが、雨で一時間中断し、再開後は文字通り流れが変わり、幸運でした。壮年の大会も、もっと参加者が増え、男子、女子等別れて行えるようになればすばらしいと思います。

保々：今回、初めて優勝させていただき、本当にありがとうございます。今年生まれた係にいい土産ができました。

講習会開かれる

初めてテニスレッスンを受けて

前号でお知らせした、プロ

コーチによる講習会は、当日（7月14日）雨により中止となっていました。各担当者の努力により、10月9日前回と同じスケジュールで開催することができました。

当日は天気もよく、50数人の人が、それぞれの思いを胸に秘め（サーブがうまくならない、アイツに勝てるようにしたい、あと一歩で上級者の仲間入りができそうだし）、中央公園に集まってきました。ゴースンからは、米沢プロを筆頭にコーチの方々にきていただき挨拶もそこそこに、各人のレベル別に班分けをし、レベルアップ講習会を行い有意義な一日を過ごしました。そして最後になりましたが、ゴースンの米沢プロ以下のコーチの方々、こういう機会を作ってくれた、市役所、社会教育課、新星堂・昭島店そして、各担当役員の方どうもありがとうございました。

工藤 聡

赤いウェアに輝いた

放射状の金の糸。旅芸人と思わせるような彼女の「ハイ、もっと大きく上に振り抜いての声に、私は思わず「ハイッ」と返事をした。我家の奥にだってこんなに從順になることは最近滅多にないのではないかと考えながら、私はこの浅黒い顔え抜かれた小柄な米沢プロが見事な球サバキで秋川のテニス猛者共を仔羊の様に素直にさせている事に、まったく感心してしまった。春先に腰痛で2ヶ月以上を療に振ったうえ超異常気象で冷夏長雨だった今年の夏、私は、秋の気配が忍び寄る頃によりやく打ち始めたものの乱調なショットに焦り狂っていた時であった。だから米沢プロの講習会にはすがりつきたい気持ち一杯でやって来たのであるが、彼女が紹介された時には私はがっかりしてしまっただけで女性だとは考えもしなかったのである。（ナンダ、ナンダと秋川テニス主婦連の抗議の腕まくりに取り囲まれ

そうであるが）。しかし、一端コートに立つと彼女の速射砲のように次々とそして正確な球出し、無駄のない駒の動きに方にも「オヤッ、これは」と思われ、そして基本動作、技術の適切な説明に次第に真剣になって行く自分に気が付いたのであった。特に昼休み後はしばらく若い男性のアシスタントが指導に当たったのだが、あまり計画性があるとは思えない彼の自信のなさそうな練習方法に一時座がシラケ掛ったことを思うと、米沢プロの素晴らしいさを改めて認めざるを得なかった訳である。（ここで腕まくりの輪が解かれる、ムソフツ）。あれから早や一ヶ月、って抜けるような青空を見上げながら私はペランダの陽だまりの中でこの原稿を書いている。あの講習会以来、テニスの調子も徐々に上向いて、前回の多摩社会人のシングルスにも勝つことができた。

米沢プロの千球を超える球出しを気遣って私は「大変ですわ」と声を掛けた。彼女は「十年もこうやっているから腕が痛くて」と微笑みながらも、密度の濃い練習を時間一杯まで努め終えたのであった。「これは仕事だ」と私は心の中で叫んだ。彼女はテニス以外のものもまた教えてくれたのであった。

さて、米沢プロが示してくれた効率の良い練習法は早速取り入れるとしても、私個人としてはやはり技術的な悩みがまだまだ主なので、次回はテニスクリニック風な企画にしたいだければと欲張っております。

試合結果報告

☆福生オープンが5月8日に行われた。

男子ダブルス 中村・倉田組がベスト8。
女子ダブルス 小島・北村組が準優勝と健闘。

☆梅田堂杯（青柳社会人対抗戦）が6月5日に行われた。
男子秋川T.C.(A)がリーグ戦で1-2で負け、Bに落ちた。

秋川T.C.(B)、A.T.C.(A)、A.T.C.(B)共に2回戦負け。
女子秋川T.C.(A)、A.T.C.共にベスト8。秋川T.C.(B)がベスト4。

☆太田杯が8月6日行われた。本戦は東村山に負けた。
コンソレ1回戦は瑞穂に勝ち、2回戦で清瀬に負けた。



冬季練習会のお知らせ

例年のように総合グラウンドでの練習は、12月17日(土)をもって終了し、1月8日(日)より中央公園テニスコートで冬季練習会を行います。時間は11時より1時まで。コートは4面です。詳細は年間スケジュールを参照して下さい。

また、1月29日(日)には市民大会(ミックス・ダブルス戦)が、2月19日(日)・26日(日)には市主催によるテニス教室(有料・中央公園テニスコート・1時より5時まで)が行われます。みなさんぜひ参加して下さい。

テニスは基礎体力が

テニスは、基礎体力が必要だと、常々言われています。そこで、基礎体力を充実させる為、スキーに行きましょう。

・時―一月二十日(金)夜行―二十二日

所―木島平・シャモニー

・時―三月
所―未定(たぶん石打)

各ツアーとも、送り抜きのコーチ、同行の子定。

問合せ先―広報部
たくさんさんの参加お待ちしております。

◇忘年会のご案内◇

本年も残り少なくなり、いよいよ又忘年会のシーズンとなりました。今年度は装いも新たに計画致しましたので、みなさん奮ってご参加下さい。

○日時―12月17日(土)

○場所―うなぎ・天ぷら・かつぱう

「安方能」

TEL 0425(59)1622

(小川、Mマートそば)

○申込み―菊池(59)2705

○費用―5,000円

あんこう鍋でテニス談義に花を咲かしやうぜ!!

恋人募集(No.2)

氏名―竜野 智美

性別―女

生年月日―S 37. 10. 31

特技―テニス(まじめにやれとぶたれそう)

趣味―野球・あみもの

できる料理―スパゲティ

にがてな家事―あとかたづけ

今、一番ほしいもの―トライアスロンに

出れるような体力

とジョイナールのよ

うな筋力。自転車はいい。



希望を少し言わせていただいでよいならば……。

○テニス、スキー、ゴルフは人並み以上

○お酒は日本酒が水のように飲める。

○たばこは喫わない。

以上

よろしく願います。

今月のお薦め本

天候不順だったこの半年、テニスフリークは、雨の降った休日には、どうしてしましたか? そして秋の夜長、どうすごしていますか? カウチポテトもすがたのものがあありますが、冒険小説・面白本・ハードボイルドにも目を向けて下さい。一本のビデオをがまんして、二杯のコーヒを一杯にして、ダーク・ピクト、フィリッパ・マローウ、スペンサー、彼等の世界を見てやって下さい。

そこで、テニスフリークに贈る今月の一冊は、
「ウィンプルドン」
ラッセル・ブラッドン

新潮文庫 440円

「女王陛下と一万六千の観衆が固唾を飲んで見守る、テニス界最高の栄冠を賭けて戦われる男子シングルの決勝戦。その時鳴った一本の電話。」

「試合終了までにこちらの要求が入られなければ、女王陛下とこのフレイナルの勝者は処刑されるであらう。もし試合終了前に誰かがロイヤルボックスにいらしてはセンタール

ートを去ろうとすれば、処刑は直ちに執行される。その場合は三人ともだ。」

女王陛下は誇りをもってその要求を拒絶した。犯人を探し出すまでは勝つこともたらず、負けられもせず、若き天才プレーヤー、オーストラリア出身のキングとソ連出身のツアラブキン、親友どうしの死闘がいつ果てるともなくつづく」

このすごいシチュエーション、そしてこのツアラブキンは、キングと親友になれたことで、ソ連からの亡命を決意し、なおかつ、この極限状況を片方しか知らない。

一読、二読、三読、四読、お読みにならなさんかお気の毒今月のお薦め本でした。

